

2026年1月17日

修成建設専門学校
校長 見邨佳朗 様

学校関係者評価委員会
委員長 藤田 晴樹

学校関係者評価委員会報告書

令和6年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1. 評価者

令和7年度 学校法人修成学園 学校関係者評価委員

委員名簿(敬称略・順序不同)	
丸山 徹	卒業生保護者
相賀 勝	元吹田市理事
藤田 晴樹	株式会社ジェイネット 代表取締役
市岡 武	株式会社福本設計 相談役
大槻 憲章	NPO 法人おおさか緑と樹木の診断協会 理事長
田中 文雄	大和田振興町内会 会長
若浦 直樹	学校法人神港学園 神港学園高等学校 校長
壺山 和憲	壺山建設株式会社 取締役社長

2. 評価期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日

3. 委員会の開催状況

第一回委員会 令和7年11月12日(会場 修成建設専門学校 146教室)
第二回委員会 令和8年2月12日(会場 修成建設専門学校 146教室・実施予定)

4. 学校関係者評価委員会報告

令和7年11月12日に開催された委員会において、修成学園山下理事長、見邨学校長、副校長、学生相談室室長、学園顧問、経営戦略室長、事務局長、及び事務局長補佐より、令和6年度の業務について自己評価報告書に基づき報告を受け、評価内容の確認を行った。また委員各自が、自己評価報告書に示されている評価項目に対し「自己評価結果」「改善に向けた取り組み」「今後の改善方策」について採点(4点満点)を行い、その結果を示した。さらに、委員各位からの意見をとりまとめ報告書とする。

5. 採点結果(平均値)

調査項目	自己評価結果	改善に向けた取り組み	今後の改善方策
基準1(教育理念・目的・育成人材像)	4.00	4.00	4.00
基準2(学校運営)	4.00	4.00	4.00
基準3(教育活動)	3.86	3.86	3.86
基準4(修学成果)	4.00	3.86	4.00
基準5(学生支援)	4.00	4.00	4.00
基準6(教育環境)	4.00	4.00	4.00
基準7(学生の募集と受け入れ)	4.00	4.00	4.00
基準8(財務)	4.00	4.00	4.00
基準9(法令等の遵守)	4.00	4.00	4.00
基準10(社会貢献)	4.00	4.00	4.00
総計	3.99	3.97	3.99

6. 意見

- ・ 熟練技術者の高齢化が進み、技術の継承が課題です。少子化の影響は小さくありませんが、日本の建設技術の低下を防ぎ、安心、安全なインフラを構築していくために若い技術者への期待はますます膨らんでいます。歴史ある教育機関としてその役割を果たしていただいていることに敬意を表します。また更なる取り組みに期待しています。
- ・ 在学中に、企業の現役社員から講義を受けるカリキュラムやインターンシップで現場の空気に触れる機会も増え、ぼんやりした目標しか持たずに入学した学生もより社会の中で役立つ事の価値を感じるのではないかと感じています。AI が全ての分野に浸透しつつあるからこそ、ヒューマン的な学校運営を心掛けていただきたいと思います。
- ・ 日常生徒に対して真正面から真剣に取り込んでおられる姿が見られます。日本の人口推移を見ますと、今後 18 歳未満が令和 22 年まで約 88 万人が減少するとの予測で、近年全国はもちろん近畿地方に於いて、4 年生大学が増加、本学園に入学する生徒も激変することになります。学校創立 120 周年に向け、益々教師陣の力量が問われる事になります。
- ・ 建築分野の実務ではデジタル化が急速に進んでおりデジタルを使って建築を考える能力も重要であると言われていています。修成建設専門学校ではデジタル化に早くから取り組んでおられます。資格試験では手書きの製図も必要でありアナログからデジタルまで短期間で広範囲であります。専科（1 級・2 級）を含めた教育で今後も優秀な学生を社会へ送り出される事を期待しております。
- ・ 理念・目的・育成面でキャリアアップの充実やフォローアップカルテ導入・スタディーマップ・資格カレンダーを学生と共有する事は、自主的目標も定まり、学生自身が体形的に自己分析が出来て良いと思います。又、卒業後のスキル UP 資格取得の窓口として、修成教育研究所の存在は意義深い。卒業生の絆を深める修友会と研究所の連携を評価します。
- ・ 近年、外国籍の学生も多く教育理念が大変難しい中で貴校の社会貢献への強い感心と生徒への育成への心遣い等、保護者の方から耳にする事もあります。今後とも一人でも多くの学生が社会人として立派に活躍する人材育成に地域からもよろしくお願い申し上げます。

以上